

研究職員（任期付採用）募集要領

農林水産省農林水産政策研究所では、標記研究職員の募集を行っております。

任期付採用は、国家公務員総合職試験では適任者が得られない特別の知識、能力又は技術を必要とするポストについて、期間を限定して優秀な人材を採用するために行っているもので、今回の採用予定ポスト、募集条件、選考採用試験要領は下記のとおりです。

記

1. 採用予定官職及び研究業務内容とキーワード

農林水産政策研究所任期付研究員 1名
(詳細は別紙のとおり)

2. 応募条件（以下の全てを満たすこと）

- ① 農学、地域政策等の農林水産業、地域政策に関連する分野の大学院博士課程修了の学歴又は同等程度の能力を有する者
- ② 研究職員として採用予定ポストの研究課題を担当するために必要な知識、能力又は技術を有する者

※ 以下に該当する者は応募できません。

- ・ 国家公務員法第38条（欠格条項）の規定に該当する者
- ・ 一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律（平成9年法律第65号）第3条第1項第2号により採用されたことがある者

3. 任 期

令和3年4月1日～令和6年3月31日

4. 給 与 等

一般職の任期付研究員の採用、給与及び勤務時間の特例に関する法律（平成9年法律第65号）に基づき職歴等を勘案して決定。

5. 勤 務 地

農林水産政策研究所（東京都千代田区霞が関3-1-1）

6. 提 出 書 類

① 履歴書（写真を貼付すること）

※ 博士号を取得している場合は、履歴書の資格欄等に、博士号の分野、学校名、学位番号、学位授与日を記載すること。

② 研究業績報告（所定の様式に従って研究課題、背景、方法、成果、成果の評価、発表論文等を記載）

※ 研究業績報告様式は別紙のとおり

③ 主要な論文、著書等3点を各3部（コピー可） ただし、単著又は筆頭著者のものに限ります。

④ 応募する仕事に対する抱負（A4判1枚）

⑤ 事務連絡用 E-mail アドレス (パソコン及び携帯電話等)

7. 書類提出先

〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-1-1

中央合同庁舎第4号館

農林水産省農林水産政策研究所

庶務課人事厚生係

※ 封筒あるいは封緘した包みの表に「任期付研究員応募書類在中」と朱書き、簡易書留で送付して下さい。

8. 応募締切

令和2年9月7日(月) (必着・締切日厳守)

9. 選考方法

① 一次選考 書類審査

② 二次選考 一次選考合格者に対してのみ面接審査(令和2年9月予定)
(二次選考の日時は、後日、一次合格者に直接お知らせします。)

10. 問い合わせ先

農林水産省農林水産政策研究所

・研究内容に関するもの

総括上席研究官 高橋(たかはし)

・事務に関するもの

庶務課人事厚生係 西城(さいじょう)

TEL : 03-6737-9000

FAX : 03-6737-9600

11. その他

応募に関する秘密は厳守いたします。また、応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。

採用予定官職及び採用理由

場所名：農林水産政策研究所

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	任用期間
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	「食料供給、食料消費の構造的な変化を踏まえた食料安全保障に関する研究」 主要農産物、食料品の需給および価格動向とともに消費者の購買行動分析、飲食店等食料関連産業の動向分析により、新型コロナウイルス感染症の食料供給体制に与える中長期的な影響を多面的にあきらかにし、安定的な食料供給体制の構築に必要なフードシステムの方向性、食料安全保障のあり方を検討する。	令和3年4月1日 から 令和6年3月31日 まで（3年間） 公募時のキーワード： 1. 食料安全保障 2. 食料需給 3. フードシステム 4. 食料関連産業 5. バリューチェーン

研 究 業 績 報 告

(氏名) ○○ ○○ (-)

研究実施機関及び期間	研 究 概 要	発 表 の 時 期 及 び 方 法	共同研究者

○ 研究業績報告の書き方

研究業績報告

総枚数

ページ

(氏名) 農 林 太 郎 (〇-1)

○ 業績整理区分

1. 学会（誌）発表
学会誌掲載論文又は学会での講演要旨を整理する。

2. 公刊図書
一般に市販されている書籍に掲載された論文、総説、実用記事、広報記事等を整理する。
なお、単行本や定期刊行物など図書又は雑誌の形式や発表形態で区分するものではない。

3. 機関誌発表
国、地方公共団体、公庫、公団、大学、外国政府機関、国際機関等から発表された研究報告、年報などの刊行物掲載論文、総説、研究資料などを整理する。
なお、企画部門等において研究推進検討会議資料、研究推進構想資料等を任務として取りまとめ発表したものを含む。

4. その他
上記以外のもの、研究実績をもとに取りまとめ、成果又は資料として発表又は公開されたものを整理する。
例 特許実用新案
新聞記事
農業技術の普及資料
研修テキスト 等

○ 業績整理順
各区分内の業績記載順は、学会誌や所報告のような重要度の高いものを先に記載し、口頭発表等は、その後に記載すること。

注意事項

- 同一業績を学会誌に掲載後、機関誌に掲載した場合等は主要な方で区分してダブル記載しない。
- 主任担当者の〇印については共同研究者の中で食い違いのないように注意すること。
- 学術用語については、事務担当者が理解できるように別紙により解説すること。
- 左の余白を20mm以上とすること。

研究実施機関及び期間	研究 概 要	発表の時期及び方法	共同研究者
○○○○研究所 自昭和○年○月○日 至平成○年○月○日 ○○○○研究所 自平成○年○月○日 至 現 在 海外における研究 期間がある場合 科学技術庁○○在外 研究員として ○○○○国 ○○○○研究所 自平成○年○月○日 至平成○年○月○日	1. に関する研究 (研究の背景) --- (テーマ毎に記入) . . . ①について記載 (研究の方法) --- (") . . . ②について記載 (研究の成果) --- (") . . . ③について記載 (研究に対する評価) --- (") (研究の分担) --- (")	研究業績は、優れて重要度の高い順から記載し、一連で数多くある場合は、それらの業績を総合または集約したテーマをつける。 なお、テーマ毎に新しいページにする。 ① 研究の目的は何か ② 研究方法の創造性 --- などを明記する。 ③ 成果 (各200~300字程度) (ア 新しい技術開発 イ 新有用物質や現象の発見 ウ 新優良品種の育成導入 エ 新理論の確立 オ 実験手段、測定方法等の創案 カ 有用データの収集、解析、考案) 1 農業への寄与 2 科学上の寄与 3 研究推進のための寄与 の観点から利益性、貢献度を適切に表現する。 共同研究をし、候補者が分担した業績(企画立案、試料採取、各種分析、現地調査、結果の取りまとめ等)を明確に記載する。	共同研究者
(学会（誌）発表)	1) に関する研究 --- について --- [.] タイトルが同じ場合はサブタイトルを付けるか、解説を加え違いをはっきりさせる。 主たる業績は2~3行の解説を加える。 なお、重要度の低い業績は省略可。	平成○年○月 ○○学会記事○巻 P○○~○○	○農林 太郎 山田 二郎
	2) について (講演要旨) --- --- について ---	平成○年○月 ○○○○学会 講演要旨集第○集 P○○~○○	○農林 太郎
	3) abcdefg hijk lmno pqrst (.) --- 外国語の場合は和訳する。	平成○年○月 abcdefg (和 訳) ○巻○号 P○○~○○	○農林 太郎 A. B. Cdefgh (カタカナ)
	4) 投稿中の場合はその旨記載し、発行予定年月及び巻号を記載する。 なお、必ず受理書を添付の事。	平成○年○月 ○○報告 (投稿中) ○号 発行予定 : ○年○月	○農林 太郎 A. B. Cdefgh カタカナ)
(公刊図書)	1) について 公刊図書の場合は誌名及び発行元を記載する。	平成○年○月 「○○の○○」 (○○○巻) P○○~○○	○農林 太郎 山田 二郎
	◎ 以下「学会（誌）発表」の例と同様に業績整理区分毎に業績を列記する。 なお、テーマ毎に新しいページとすること。		
(機関誌発表)	1) 2) 3)		
(その他)	1) 2) 3)		
(1)			
(2)			
(3)			
最終ページに業績の合計を入れる。 (サブテーマ毎には不要)			
(4)			
合 計		○○点 (○○)	主任担当 業績数
学会（誌）発表	○○点 (○○)		
公 刊 図 書	○○点 (○○)		
機 関 誌 発 表	○○点 (○○)		
そ の 他	○○点 (○○)		

- 4 -

共同研究者

農林 太郎
山田 二郎

農林 太郎

農林 太郎
A. B. Cdefgh
カタカナ)

主任担当
業績数